

荻窪病院だより

身近な病院で、コロナ治療を受けて頂くために 当院はこれまで、約1000名[※]の 入院患者さんを受け入れて参りました

新型コロナウイルス感染症発生当初から専用病床を設置し、コロナ患者さんの入院を受け入れてきた当院。20年2月に2床から始め、最大時には24床を確保し、杉並保健所や東京都からの入院要請に応えてきました。

となった第7波の入院受け入れについて話を聞きました。

**重症肺炎は減り、
多様な基礎疾患患者さんが
増えた第7波**

今回は、感染管理室長としてコロナ患者さんの治療にあたってきた藤井医師に、最大の感染者数

「20年2月から新型コロナウイルス感染症の治療に携わっています。これまで、コロナウイルス感染症の治

療とえば、肺炎の治療でした。しかし、第7波では多くの人が罹患し、限りある新型コロナウイルス病棟に入院される方は、肺炎の方、高齢者や基礎疾患のある方に絞られました。

肺炎の方は、第6波までにみられた重症な方は少なく、呼吸器を装着する症例は減りました。高齢者は要介護4〜5の看護度の高い方が多くなりました。

基礎疾患は多岐にわたり、これまで少なかったがん治療の方が増えてきました。これらが第7波の入院患者の特徴でしょう」

当院では、妊婦さんを含むすべての入院予定の患者さんの事前PCR検査を行っています。第7波では



コロナ専用病棟

内科系医師・看護師・コメディカルの多職種で療養を支援します。行政からの患者受け入れ窓口は地域連携室が、アフターコロナで療養が必要な場合はソーシャルワーカーが転院先を探します。

この事前検査や一般外来で陽性が判明し、コロナ病棟に入院しながら、徹底した感染管理の元、手術や分娩を行ったケースが少なくありませんでした。

「外科系の先生とも連携を



感染管理室長/ 心臓血管外科医長
藤井 奨 ふじい すずむ

89年金沢大学卒業 医学博士 日本外科学会専門医/コロナ患者さん受け入れのため粉骨砕身の日々。趣味は都心までのロング散歩と、バラ栽培。

コロナ専用病棟の看護スタッフと藤井医師



取り、治療にあたりました。いずれにしても、新型コロナウイルスが原因で亡くなることなく、基礎疾患の治療が継続できるように、新型コロナウイルス病棟スタッフと皆で協力して治療に励みました。

幸いにも第7波で亡くなった症例は当院ではありませんが、高齢者肺炎の方や、抗がん剤投与中の方は、10日経過しても、PCR検査も抗原検査も陽性が続き、なかなか退院できませんでした。身体からウイルス排除するための免疫力の重要性を再認識しました」

コロナ専用病棟の看護

看護師の配置は、病棟看護師で輪番制としています。コロナ専用病棟の看護の難しさについて、倉澤正子看護部長は「具合の悪い患者さんのそばにいたいのに、長くはいられないというジレンマが常にあります」と話します。「患者さんのそばでケアし不安の軽減を図る“ベッドサイドケア”が看護師の務めですが、コロナ病棟では感染リスクを少しでも下げるため、患者さんと長時間の接触をできるだけ避けなければなりません。通常の看護とは相容れないのです」。

コロナ患者さんのベッドサイドには防護服を着用し臨みますが、認知症の患者さんなどの場合、マスクを外してしまったり、防護服を引っ張られて破けたりすることもあるのだそう。「感染するかもしれないというリスクと常に隣り合わせ」の中、患者さんの1日でも早い快復のため看護にあたります。



ワクチン接種済みの人は肺炎を起しても軽症

多くの入院患者さんを診ている藤井医師に、ワクチンの効果について聞きました。

「ワクチン接種している肺炎症例では、ベクルリー（ウイルス遺伝子複製阻害薬）など単独の治療薬でも、改善されませんが、ワクチン未接種の肺炎症例は、ベクルリー、デキサメサゾン（ステロイド）、アクテムラ（炎症抑制）と複数の治療薬が必要になることがほとんどで、ワクチンの恩恵を患者さんを通して感じています」。

また、2度目の感染症例が増加してきております。幸い2度目の感染者は軽症の悪化を認めることが多く、2度目の感染にならないよう感染対策をお願いしたいです。

今後まだまだ新型コロナウイルス感染症の治療が続くと思いますが、新型コロナウイルス病棟スタッフと共に、感染者の心配を取り除ける治療を届けたいと思っています」。

※20年2月～22年9月の入院実患者数1003名

初診時/再診時選定療養費 変更のご案内



荻窪病院 HP

厚生労働省が定める「選定療養費制度」の見直しにより、2022年10月から選定療養費が増額となりました。また、当院に通院中であっても新たな診療科に受診する際に紹介状（診療情報提供書）がない場合も、選定療養費がかかることになりました。くわしくは病院ホームページTOPの「お知らせ」をご覧ください。

●初診時選定療養費 5,500円→10月1日より **7,700円**に変更

●再診時選定療養費 2,750円→10月1日より **3,300円**に変更

(金額は全て税込)



理念

患者さんへ 安心して信頼される医療を提供します。
職員へ やり甲斐のある仕事と豊かな生活の場を提供します。

基本方針

- 1.急性期医療に全力で取り組み、地域社会に貢献します。
- 2.個人の権利を尊重し、相互信頼に基づいた患者さん中心の医療を提供します。
- 3.豊かな人間性と優れた技能を有する医療人の育成に努め、活力のある病院づくりをします。
- 4.経営の健全化に努め、質の高い医療を地域に提供し続けます。